

Newsletter

— 学 会 会 報 —

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

〈目 次〉

〈理事会報告〉

I 各種委員会報告

II 審議事項

- ①第 21 回大会（佐賀大会）について
- ②第 22 回大会（北海道大会）について
- ③次期理事選挙について

III 事務局報告

『カリキュラム研究』第 19 号における誤植の訂正〉

〈「日本カリキュラム学会 第 2 回研究集会」開催のお知らせ〉

〈第 22 回大会（北海道大会）課題研究 II 提案者公募のお知らせ〉

〈事務局からのお知らせ〉

— 〈 理事会報告 〉 —

[2010 年 11 月 6 日（土） 14:00～17:00（於） 東北大学東京分室]

定例の理事会が 11 月 6 日（土）14 時から 17 時まで、東北大学東京分室で開催されました。理事 15 名、前回大会開催校関係者 1 名、次期大会開催校関係者 1 名、および事務局 2 名が参加しました。水原克敏代表理事挨拶に続き、下記の議題を審議・決定いたしました。

I. 各種委員会報告

(1) 紀要編集委員会（臼井嘉一委員長・的場正美副委員長）

2010 年 10 月 24 日（日）13 時半～17 時に名古屋大学において、2010 年度第一回日本カリキュラム学会機関誌編集委員会が開催されたことが報告された。

編集規程の改正とこれに伴う公告文について、前回総会の決定通り、次号紀要に掲載することが報告された。論文等の電子化については、送信権の移譲につき、投稿時に電子化・公開に同意をしたものと見なす旨を投稿時の注意書きに付記することが確認された。

また、論文を投稿された会員に、「最終原稿作成のお願いとご注意」を送付することが提

案され決定された。主な注意点は、初校と最終原稿の大幅な改訂および文字数の超過への注意喚起と、印刷時のミスを防ぐための PDF による原稿の提出をお願いするものである。

この他、次号の紀要に掲載する「図書紹介」への推薦を理事に求めた。

(2) 国際交流委員会（浅沼茂委員長）

次期大会の課題研究は、これまでと同様のテーマ（学力観とカリキュラムの関係について）で追究すること、予算獲得のため科研費への申請を規模を縮小して再度行うこと、予算が獲得でき次第、海外の調査研究等を進めていくという方針が報告された。

(3) 広報委員会（村川雅弘委員長）

HP 運営が事務局に移管されたことなどを受け、広報委員会として新たに、「カリキュラム実践研修講座」（仮称）を、学会員拡大及び広報のために企画・実施する旨の提案がなされた。方針は承諾され、次回（2011 年 3 月）理事会にて、詳細が審議されることとなった。

(4) 研究委員会（豊田ひさき委員長）

課題研究Ⅱについてと、来年度の研究集会について審議事項が報告された。

(5) 研究奨励賞審査委員会（臼井嘉一委員長・的場正美副委員長）

理事に向け、日本カリキュラム学会研究奨励賞への推薦を求めた。これに伴い、改めて「若手」研究者の解釈の合意を図った。総意として、年齢や職の有無に限らず研究者としてこれからの活躍が期待されること、という解釈が確認された。

II. 審議事項

(1) 第 21 回大会（佐賀大会）について

井上正允会員より第 21 回大会の報告がなされた。また、大会決算が下記の通り報告された。これにつき、会計収支簿を回覧し、審議の上、大会決算が承認された。

決算報告書

①収入の部

収入の部		予算	決算	摘要 (数)		
1	会費	¥670,000	¥725,500	¥640,500	一般会員 (¥3,500)	183 人
				¥85,000	学生会員 (¥2,500)	34 人
2	本部より	¥800,000	¥800,000			
3	協賛金	¥150,000	¥180,000		15 社から	
4	雑収入	¥150	¥0		預金利子等	
	合計	¥1,620,150	¥1,705,500			

②支出の部

支出の部		予算	決算		摘要
1	会議費	¥190,000	¥181,266		
	会場使用料	¥180,000	¥168,385	¥168,385	
	会議費	¥10,000	¥12,881	¥834	プログラム発送作業
				¥5,951	参加者控室飲料
				¥6,096	司会・提案者等飲料
2	印刷費	¥655,000	¥640,236		
	一次案内	¥20,000	¥21,490	¥20,390	一次案内紙代、トナー
				¥1,100	振込用紙印刷
	封筒等	¥45,000	¥34,650	¥34,650	角形2号 2200部
	大会プログラム	¥180,000	¥138,600	¥138,600	B5 1000部(全会員)
	大会要旨	¥400,000	¥425,250	¥425,250	B5 1000部(大会参加者及び欠席の会員)
	総会資料	¥10,000	¥20,246	¥20,246	紙代・印刷機マスター
3	通信費	¥250,000	¥168,830		
	通信費	¥250,000	¥168,830	¥57,360	一次案内送料
				¥58,000	大会プログラム送料
				¥49,850	大会要旨集録送料
				¥3,620	事務連絡
4	総務費	¥395,000	¥714,113		
	事務用品	¥55,000	¥29,543	¥9,543	事務用品
				¥20,000	事務局手当
	謝金	¥340,000	¥684,570	¥142,670	公開シンポジウム交通費・宿泊費・謝金
				¥321,000	学生スタッフ謝金・昼食費
				¥220,900	教官スタッフ謝金・昼食費
5	雑費	¥130,150	¥1,055		
	予備費	¥130,150	¥1,055	¥525	会場使用料振込手数料
				¥530	欠席者返金手数料
	合計	¥1,620,150	¥1,705,500		

③収支合計

$$(収支) = (収入) - (支出) = ¥1,705,500 - ¥1,705,500 = ¥0$$

(2) 第 22 回大会（北海道大会）について

①次期大会準備委員会より

今回欠席の大野理事に代わり、次期大会準備委員会の大竹正美会員より、方針・日程・検討事項に関して説明があった。主に、会場の準備の関係上、例年とタイムテーブルを変更する必要があり、これについて審議がなされた。大会一日目【課題研究Ⅰ・Ⅱ、新理事会、自由研究発表Ⅰ、課題研究Ⅲ・Ⅳ】、二日目【公開シンポジウム、総会、自由研究Ⅱ】という大枠で仮決定され、これに合わせて会場等、再度、大会準備委員会で検討することとなった。公開シンポジウムについては、「教科教育研究とカリキュラム研究：個別性と総合性、カリキュラム研究の視点から」という案が提案された。

なお、大会日程は、2011年7月16日(土)から17日(日)まで(7月15日(金)理事会開催)。

(3) 研究委員会より

①課題研究Ⅱ提案者公募について

課題研究Ⅱ・Ⅲについて、主にⅡでのテーマ設定の方法について提案がなされた。提案は、課題研究Ⅱ「カリキュラムにおける公共性とポリティクス」につき、提案者を公募するというもの。大筋は合意されたが、趣旨が漠とすることを防ぐため、例示の付記を理事会から求め、研究委員会で再度検討することとなった。

②『カリキュラム研究』第19号における誤植への対応について

第19号紀要において、誤植があることが執筆者より報告され、その対応について審議された。最終原稿等を調査の結果、誤植は印刷会社の責任によるものである事が確認された旨、報告された。これにつき、ニューズレター（本紙）で正誤表を掲載する事、次号の紀要で正しい抜き刷りを同封すること、執筆者へお詫びの書面を送る事が決定された。

③第2回研究集会について

第2回研究集会は、2011年3月26日（土）、中部大学名古屋キャンパスにて開催予定である（参加費無料）。参加資格について、前回は学会員に限定していたが、これを取り除く方針が提案され、承認された。また、発表・提案者への交渉状況について報告された。詳細情報は、ニューズレター（本紙）とHPに掲載する。

(4) 代表理事選挙について

①選挙日程の承認、②選挙管理委員会の所掌範囲の確認、③選挙管理委員3名の指名・決定が行われた。

①：前回理事会において、選挙日程を早める案が検討されていたが、選挙人名簿・被選挙人名簿確定の時期等の問題により、選挙日程は例年通りとすることが提案・承認された。

②：選挙管理委員会は、理事選挙および代表理事選挙の2つの選挙に責任を有する事が

確認された。また、代表理事選挙に関する申し合わせについて審議され、3月の理事会までに理事からの提案を得、事務局にて再度提案をすることが決定された。

③：選挙管理委員に、前回から引き続き、堀内かおる会員（横浜国立大学）と、新たに、澤田稔会員（上智大学）・関根明伸会員（国士舘大学）が推薦され、承認された。

Ⅲ 事務局報告

(1) 会員現況報告

会員総数：920名（一般会員：766名、学生会員：144名、団体会員：10件）

※うち、連絡先不明者22名、会員資格停止者147名を含む

2010年7月2日～11月5日までの新規入会者は5名。新規退会者は3名。新規連絡先不明者は7名であった。

(2) ニュースレターの発行

2010年9月30日に第53号 Newsletter を発行した。

(3) 寄贈図書

2010年9月18日（※前号会報掲載分）～11月5日事務局到着分の寄贈図書は特になし。

(4) 懸案事項

①会員資格停止条件について、②年会費の処理の仕方について、③宛先不明者の処理について、④会員総数の計算の仕方について、⑤紀要の寄贈について、⑥年会費納入状況の記載の不備について、の6点につき、説明がなされた。

①～④については、詳細を取りまとめ、次期理事会で提案をすることとなった。

⑤については、これまで学会の周知・拡大のために行ってきた大学機関等70件への紀要の寄贈を今後は中止し、販売を行うことで合意された。

⑥については、詳細を本紙末尾に記載。協力者を得て対応を行うことが報告された。

— 『カリキュラム研究』第19号における誤植の訂正 —

『カリキュラム研究』第19号の掲載論文に誤植がありました。今回の誤植は一部を除いて最終印刷において発生したものです。執筆者には多大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

日本カリキュラム学会「カリキュラム研究」第19号編集委員会委員長

臼井 嘉一

カリキュラム研究 第19号 正誤表

頁「箇所」行	誤	正
表紙「森本洋介」	カナダ・オンタリオ州の1999・2000年度版および2007年度版英語カリキュラムにおける人権の位置づけの異同	カナダ・オンタリオ州の1999・2000年版および2007年版英語カリキュラムにおける人権の位置づけの異同
p70「外国語摘要」の第3パラグラフ4行目	programs from me federal.	programs from the federal...
p73「2-2.データ収集方法」の4行目	<input type="checkbox"/> I 高校で前年度～	②I 高校で前年度～
p73「2-2.データ収集方法」の5行目	<input type="checkbox"/> インタビュー調査で～	③インタビュー調査で～
p74「2-4.データ整理・分析の枠組み」の2段落1行目	回答 <input type="checkbox"/> 「企画から準備～」	回答①「企画から準備～」
p74「2-4.データ整理・分析の枠組み」の2段落2行目	回答 <input type="checkbox"/> 「当日のみ～」	回答③「当日のみ～」
p74「2-4.データ整理・分析の枠組み」の2段落3行目	回答 <input type="checkbox"/> 「準備の手伝いや～」	回答②「準備の手伝いや～」
p75「3-1-1.各学校行事に対する生徒の意欲」の1行目	5段階評価の <input type="checkbox"/> と <input type="checkbox"/> を合計～	5段階評価の①と②を合計～
p76の2行目 (3-1-1.各学校行事に対する生徒の意欲)	ポジティブな回答 (<input type="checkbox"/> 非常に身についた+ <input type="checkbox"/> ある程度身についた)を～	ポジティブな回答(①非常に身についた+②ある程度身についた)を～
p79の4行目 (4-2.行事委員の葛藤と成長)	「 <input type="checkbox"/> 特に悩んだことはない」とする～	「④特に悩んだことはない」とする～
p79の5行目 (4-2.行事委員の葛藤と成長)	「 <input type="checkbox"/> 学校行事も部活動も～」	「③学校行事も部活動も～」
p79の6行目 (4-2.行事委員の葛藤と成長)	「 <input type="checkbox"/> 部活動を優先したいが～」	「②部活動を優先したいが～」
p79の7行目 (4-2.行事委員の葛藤と成長)	「 <input type="checkbox"/> 学校行事を優先したいが～」	「①学校行事を優先したいが～」
p79の8行目 (4-2.行事委員の葛藤と成長)	<input type="checkbox"/> 「その他」	「⑤その他」
p83の所属大学名	Osaka city University	Osaka City University
p83の所属大学名	Tokyo University Foreign Studies	Kyoto University of Foreign Studies

— 〈「日本カリキュラム学会 第2回研究集会」開催のお知らせ〉 —

「日本カリキュラム学会 第2回研究集会」の開催について

次の通り、第2回研究集会を開催いたします。ふるってご参加ください。

日時：2011年3月26日（土） 13:30-16:30 ※終了後、懇親会を開催します。

場所：中部大学名古屋キャンパス

名古屋市中区千代田 5-14-22

JR 中央本線「鶴舞」駅名大病院口（北口）下車すぐ

または、地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約 100m

発表者・タイトル：現在交渉中です。決定次第、学会 HP 等を通じてお知らせします。

前回同様、実践家と研究者、各 1 件のご発表の予定です。

参加資格：特になし。会員以外の方の参加も歓迎します。

参加費：無料

受付：会場整備・資料部数確保のため、研究集会への参加を希望される会員は、参加希望の旨を事前にメールで研究委員会宛にお知らせ願います。

問い合わせ先

連絡先メールアドレス（研究委員会専用）：jscs_research@yahoo.co.jp

— 〈第 22 回大会 課題研究Ⅱ 提案者公募のお知らせ〉 —

課題研究Ⅱ「カリキュラムにおける公共性とポリシークス」は、来年度北海道大学で開催される日本カリキュラム学会第22回大会（2011年7月16日、17日）における提案者を公募することになりました。詳細は、同封されている別紙資料をご参照ください。

— 〈 事務局からのお知らせ 〉 —

(1) 平成 22 年度（2010 年度）分会費納入のお願い【重要】

今年度分会費が未納の方は、納入をお願いします。年会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなり、同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、ご注意ください。また、本年度分までの会費が完納されていない会員の方につきましては、来年度春に開催予定の理事選挙の選挙権および被選挙権が失われます（「日本カリキュラム学会役員選出規程」第 2 条第 3 項より）ので、併せてご注意くださいようお願いいたします。

本学会の誇りの一つである高い納入率を維持するためにも、納入促進に会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、事務処理上、ラベル記載情報と実際の納入状況に、若干の行き違いが生じる可能性があります。その際は何とぞご容赦ください。

（年会費：一般 6,000 円、学生 3,000 円、団体 10,000 円）

(2) ラベル記載の年会費納入状況の見方

皆様の会費納入状況は、宛名ラベルのお名前の下に記載しております。しかし、現在、会員情報を処理しているデータベースのプログラムの不具合により、平成 21 年度以降の未納の状態がラベルに記載されないという問題が起きております。ただし、納入済みの場合には、「○年度納入済み」と記載されるため、「何も記載がない」ということが、未納の状態を表しております。会員の皆様には、ご不便をおかけいたしますが、今一度会費納入状況のご確認をいただき、未納年度がある方はお早目のご納入をお願い申し上げます。

また、前号同様、年会費の処理方法について再度ご報告致します。事務局では、通常通りでない処理の場合、以下の方針で処理を行っております。

- a) 年会費の年度指定がない場合、年度指定があってもそれ以前に未納年度がある場合
⇒未納年度の内、最も早い年度の年会費として処理
- b) すでに当該年度まで完納をいただき、さらにお振り込みがあった場合
⇒次年度以降の会費として繰り越し

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮無く事務局までお問い合わせください。よろしくお願い致します。

〒980-8576

仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院教育学研究科内

日本カリキュラム学会 事務局

TEL&FAX : 022-795-3755

振替口座番号 : 00880-0-69090

E-mail: jscs@nifty.com

URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>